

Tandem for peace

dec. 2017 Denmark

出発前に、荷物の中になにか気力の元になるもの、大きいけれども場所をとらず、なにか堅強だけれど重くないものを入れたいと考えていました。そしてそのとき思ったのが“Living Peace International”(国際平和な暮らし)のプロジェクトでした。

わたしたちの荷物に詰められるもので、平和と統一よりも良いものがあるでしょうか。誰にでもあげることできて、しかも足りなくなることがありません。

平和を語ることは、通俗的なようだし、また創意的ではありません。けれども、多くの場所で失われてしまっていることは事実です。時には、自分の家庭や自身の中でさえ、平和ではありません。ところが、わたしたちが旅立つ直前に、ある人から「しかし、どうするの？平和を共有するの？」とたずねられました。

多くのキロメートルを重ねた後には、またほかの人から「しかし、どのように伝えるの？」とたずねられました。

そしてドイツで、ある日の夕食中の質問は「理論があるのですか」でした。

数日前、友人のカルロス・パルマは、わたしたちの話や行動を知りたいだけでなく、「マネル、それほど多くの国々をサイクリングすることによって、どのように君たち二人が平和へ貢献するのか、短い言葉で共有できるの？」と心配気味に言ってくれました。

、、、そして、そういうわけで、平和の共有を試みることについての‘短い’言葉を書くのを止めました。

(...) 語源的には、Peace (平和)は、平穏や平和そして暴力や闘争の無いことを意味するラテン語の“Pax” or “Pacem”を元にします。平和の必要性はわたしたち一人一人という最も小さな社会から始まります。現実的には、誰もが平和を求めている、自分自身は平和でありたいと要求しています。しばしば、クリスマスや誕生日などの特別な日に、ただ平和でありたいと願うのですが、しかし、遅かれ早かれ、幸せに到達するためには、まず最初にわたしたち自身の心の中が平和であることが必要だということがわかります。

わたしたちのこの旅では、特別なことは行わず、ただわたしたちの目的のシンボルとしての“Living Peace International”プロジェクトの小さな旗を立てているだけです。...ただ、「良い1日を!」、「こんにちわ!」、「良い週末を」と言葉をかけて、笑顔を届けて、良い仲間であるように心がけ、できる限りの援助をして、食事を共にする人々と良い会話を試みて、そして、孤独の人へは家族のように接することを努めようとするだけです。

ほとんど毎日、わたしたちは夕方に料理をします。ある日、巡礼の宿でわたしたちが夕食を終える頃、重そうなりユックサクを背負った二人の男性が、とても疲れた様子で到着しました。そこで、わたしたちの夕食の残ったものを彼らに提供しました。そのとき、彼らはどれほどうれしかったか説明しきれず、そこで、二人のうちの片方が、腕にしていた小さな磨かれた石のプレスレットから、石を取って、わたしたちそれぞれにひとつずつくれました。彼は、この石には金銭的な価値は全くないのだけれども、本当に感謝をしたくても、それが彼の唯一の所有品だと話してくれました。

これはちょうど、わたしたちが本当の価値であると考えている平和の表現なのです。

これは、金銭的な価値がないものであっても提供することであり、世界の街角で、年齢、宗教や信仰、人生の思想に関係なく行なわれている交流で、与える方も受け取る方も双方が本当に豊かになるのです。受け取る時にはとても大きな歓迎を、与える時には役立った喜びを感じます。

ちょうど、二個の細胞の融合が異なる遺伝的な特異性を形作ることによってのみ可能になる生命の誕生のように、わたしたちひとりひとりの内部にある、精神的な生命の誕生は、わたしたちお互いが「私」を離れて、周囲との「統一」の行程の開始を決めるときから始まり、成長することが可能になります。他の人々と近い存在という人間の必要性は、社会的な生活に明らかに表れています。それは他のすべてのことのように、手数と時間のかかる成長の行程です。しかし、人々の間に調和をもたらそうとする傾向を人が持っていることを、わたしたちは見出せます。

科学的には、はるかな昔に、人々は平和を要望していたことが知られています。紀元前 4 世紀には、旧約聖書のゼカリヤ書 9 章 9-10 節の予言で、公平で謙虚な人が訪れ、戦争と不平を終焉させ、すべての国に平和をもたらすという知らせがありました。不思議なことに、それはまだ起きていません！しかし、予言の 4 世紀後、この世に質素な風変わりな人を迎えました。誰もが知っている人で、そして、無視をしたくてもできないのです！このイエスと呼ばれる人は、人の行く道を残し、「平和はあなたと共に」そして「あなたが欲するように他の人へ尽くしなさい」という、誰も拒絶できない教えをわたしたちに授けてくれました。ここでは 2 つの例だけですが、人道主義の行為への案内には充分です。

そして多くの人々が、このことがらを反映して語りました。:

アルバート・アインシュタイン:「平和は本当の人を感じる唯一の手段である」;

Guerra Junqueiro (ポルトガル人ジャーナリスト):「幸福は異なる 3 点からなる: 仕事、平和と健康」;

Chiara Lubich (イタリア人キリスト教活動家) は第二次世界大戦中にフォコラーレ運動を設立し、現在は世界中に普及して存在しています。1982 年の集会で彼女は述べています:「今日のすべての闘争に対して(中略)私たちはどこから働き始めたらよいのでしょうか? 私たち自身、私たち自身からです。何か私たちが妨害していると気付いたときには、私たちは平和を継続するべきです(中略)」;

その昔、ブッダは語りました:「平和は自身の内部から来る。周囲に探すものではない」;

ボブ・マーリーでさえ言っています。:「戦争に負けて、平和を勝ち取るほうがいい」;

そして、マハトマ・ガンジーの言葉を私は分かち合いたいです。:「平和への手段はない。平和は手段である」;

これらの名言は成分や魔法の薬ではありません。;これらと他の多くの名言はわたしたちに残された言葉にすぎません。これらは、この道をたどることを選ぶ勧めで招きです。

今日でも多くの言葉やスローガンや本が存在しています。;宗教的な運動や新しいグループがあります。これら全ては同じ論点に注目しています。、、、そして次の Christmas にまた、世界中すべてが平和であるようにとわたしたちは願うのです。

おもしろいことに、リスボンの地下鉄のサルダンハ駅で、わたしたちは Almada Negreiros (ポルトガル人芸術家)の声明からの引用を読むことができます。:

「私が生まれた時、人道を守ろうという言葉は、既に記されたものでした。;私達にただ必要であったことは-人道を守ること!」

そして、初めてわたしがこの引用を読んだとき、笑顔にならなくては入れませんでした!ちょうどそのとき、わたしもこの論点について書こうとしていて、書き続けることに価値があるのか考え始めていたのです。、、たぶん、価値あることは、この座席を離れて、何かを始めること、、、!

実際には、何をしたいのか、わたしたちはすべて知っているのです。ただ、どうするかまだ知らないふりをしているだけです!

ときどき、人道を考えると、すべての理論を知っていても、実地には未だ多くを知らない若い卒業生を、想うのです。

、、、わたしは、例えば(誇らしく言えることではないと、言っておきたいのですが)、50 年以上も、わたしが知る理論上のこの論点について実行するように試みているのです、、、

、、、そして、あなたは?